

H157		メディアと倫理：ジャーナリズムの道徳的ジレンマに挑戦	
英名科目名	Media and Ethics		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教育学部 TEL:075-645-7891 FAX:075-643-5021		
担当教員	畑中 哲雄		
開講期間	2021年09月30日(木)～2022年01月13日(木) 2講時(11時00分～12時30分) 毎週木曜日		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	木曜日 2講時
単位数	2	履修年次	1年次以上
会場	瀬田学舎		
授業定員			
単位互換生定員		京カレッジ生定員	
試験・評価方法	平常点25%：授業後3日以内に<respon>に 応答すること。 レポート75%：授業後3日以内にレポート提出。 140文字以上書くように		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	30,000円（単位互換履修生は不要）		
別途負担費用			
その他特記事項	<b>【定員】</b> コロナの状況を鑑み、教室定員を超える申し込みがあった場合、抽選を実施する可能性があります。  <b>【会場】</b> 龍谷大学瀬田学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に記載します。  <b>【授業時間外における予・復習等の指示】</b> ふだんからニュースに関心をもつよう努めてください。 新聞や雑誌、テレビの報道番組に接するようにしてください。  <b>【オフィスアワー・教員との連絡方法】</b> 面談希望者はメールで連絡してください。<hata@soc.ryukoku.ac.jp> 研究室は瀬田学舎2号館3階325号室。ランプがついていたらノックしてください。		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標	<b>【講義概要】</b> 取材現場で実際に起こった事例をもとにメディア倫理を学んでいきます。 温かいハートと柔らかいアタマがあれば、だれでも授業に参加できます。 合い言葉は「楽しみながら賢くなる！」です。 この授業は、次のような学生の参加を歓迎します。 スマホがあれば新聞やテレビはいらなと思う 炎上しているツイートをつい見に行ってしまう フェイクニュースに惑わされた経験がある インタビューや報道の仕事に関心がある インタビューや報道の仕事に関心がある 取材や編集の経験がある教員と話してみたい  授業担当者は毎日新聞社や共同通信社に長年勤めていた実務家教員です。 授業で集計するアンケート等の数値は、教員の研究活動に利用します。  <b>【到達目標】</b>		

報道倫理について実践的な知識を身につける  
論理的に考えて理性的に議論できるようになる

#### 【講義方法】

教科書（紙の本）『ジャーナリズムの道徳的ジレンマ』が必要です。各自で購入してください。  
毎回の授業の前に、指定のページを読み、予習しなければなりません。  
授業日の日に講義ファイル（PDFとMP3）がmanabaのコースコンテンツで公開されます。  
授業から3日以内に<respon>に  
「レポート」を提出しなければなりません。  
授業は毎週木曜日なので、土曜日が提出のめ切になります。

#### 講義スケジュール

第01回：イントロダクション  
授業の進め方、成績評価などについての説明～思考実験、道徳的ジレンマ

第02回：人命と報道（1）<教科書2～11頁>  
最高の写真か、最低の撮影者が 報道写真「ハゲワシと少女」の事例～ピューリツァー賞、報道写真  
第03回：人命と報道（2）<教科書22～33頁>

原発事故が起きたら記者を退避させるべきか 福島県のFMIいわきの事例～危険地取材、臨時災害放送局、原子力問題

第04回：人命と報道（3）<教科書34～44頁>  
家族が戦場ジャーナリストになると言い出したら 危険取材をする人の家族の事例～危険地取材、自己責任論、パッシング

第05回：報道による被害（1）<教科書46～57頁>  
被災地に殺到する取材陣を追い返すべきか 全国メディアと地域メディアの事例～集団的過熱取材、コンプライアンス

第06回：報道による被害（2）<教科書58～71頁>  
被害者が匿名報道を望むとき JR福知山線などの事例～実名報道、匿名報道、匿名での発表、知る権利

第07回：報道による被害（3）<教科書72～85頁>  
加害者家族を「世間」から守れるか 秋葉原事件や酒鬼薔薇事件などの事例～世間、パッシング、世情

第08回：取材相手との約束（1）<教科書100～111頁>  
オフレコ取材で重大な事実が発覚したら 沖縄防衛局長の失言の事例～知る権利、記者クラブ、記者懇談会、情報源の秘匿

第09回：取材相手との約束（2）<教科書121～131頁>  
記者会見が有料化されたら 本庄保険金殺人事件などの事例～小切手ジャーナリズム、情報料、取材費、会見の主催者

第10回：取材相手との約束（3）<教科書132～140頁>  
取材謝礼を要求されたら スポーツ選手や有名人の事例～取材謝礼、出演料（ギャラ）、公人/私人の区別、ニュースの値段

第11回：ルールブックの限界と課題（1）<教科書142～153頁>  
ジャーナリストは社会運動ができるか 龍谷大学OB丹波新聞記者の事例～地域紙、アドボカシー、社会運動、キャンペーン

第12回：ルールブックの限界と課題（2）<教科書166～177頁>  
ネットの記事を削除してほしいと言われたら ネットのニュースサイト編集者の事例～忘れられる権利、マグショット、自己情報コントロール権、アクセス権

第13回：取材者の立場と属性（1）<教科書188～201頁>  
同僚記者が取材先でセクハラ被害に遭ったら 週刊新潮とテレビ朝日の事例～セクシュアルハラスメント、性暴力、取材者の安全と防衛、記者教育、人権

第14回：取材者の立場と属性（2）<教科書226～238頁>  
人工知能の指示に従って取材する是非 AP通信AI記者の事例～機械学習、深層学習（ディープラーニング）、ビッグデータ、アシロマAI原則、ロボット倫理

第15回：全講義のふりかえり  
報道倫理を支える政治思想や哲学の理論  
～功利主義、義務論、黄金律、取材源の秘匿、言論・表現の自由、思想の自由市場、リベラリズム、リパタリアニズム、コミュニティ

アニズム、正義、善	
教科書	<p>○畑仲哲雄 『ジャーナリズムの道徳的ジレンマ』 (勁草書房) (ISBN:978-4-326-60307-7) 丸善書籍購買部 (智光館1階) で買うと10%割引になります。 電話番号 077-543-5135</p>
参考書	<p><b>【参考文献】</b>  ○藤田博司 『アメリカのジャーナリズム』 (岩波書店)  (ISBN : 9784004301837)  ○石巻日日新聞社編 『6枚の壁新聞 石巻日日新聞・東日本大震災後7日間の記録』 (角川書店)  (ISBN : 4750321885)  ○柏倉康夫 (加藤尚武・立花隆監修) 『マスコミの倫理学』 (丸善) (ISBN : 9784621071007)  ○高橋シズエ・河原理子 『犯罪被害者が報道を変える』 (岩波書店) (ISBN : 9784000244299)  ○鳥飼重和監修 『その「つぶやき」は犯罪です 知らないとマズいネットの法律知識』 (新潮社)  (ISBN : 9784106105722)  ○鈴木伸元 『加害者家族』 (幻冬舎)  (ISBN : 9784344981942)  ○清水英夫 『表現の自由と第三者機関』 (小学館)  (ISBN : 9784098250462)  ○阿部 岳 『ルポ 沖縄 国家の暴力 現場記者が見た「高江165日」の真実』 (朝日新聞出版)  (ISBN : 9784022514813)  ○農山漁村文化協会編 『地方紙の眼力 改憲・安全保障・震災復興・原発・TPP・地方創生』 (農文協)  (ISBN : 9784540171031)  ○林 香里 『メディア不信 何が問われているのか』 (岩波書店)  (ISBN : 9784004316855)  ○畑仲哲雄 『新聞再生 コミュニティからの挑戦』 (平凡社)  (ISBN : 9784582854466)  ○畑仲哲雄 『地域ジャーナリズム: コミュニティとメディアを結びなおす』 (勁草書房)  (ISBN : 978-4-326-60272-8)  ○畑仲哲雄 『沖縄で新聞記者になる: 本土出身記者たちが語る沖縄とジャーナリズム』 (ポーターインク)  (ISBN : 978-4899823780)  ○佐藤直樹 『加害者家族バッシング: 世間学から考える』 (現代書館) (ISBN : 978-4768458754)  )</p> <p>上記の参考文献は、学生諸君のお小遣いで買える安価なものばかりです。メディアの世界で働きたいと思っている人は、ぜひ手にとってみてください。</p> <p><b>【参考URL】</b>  ジャーナリズムの道徳的ジレンマ :  <a href="https://keisobiblio.com/2016/04/12/hatanaka01/">https://keisobiblio.com/2016/04/12/hatanaka01/</a>  日本新聞協会 :  <a href="https://www.pressnet.or.jp/">https://www.pressnet.or.jp/</a>  日本民間放送連盟 : <a href="https://www.j-ba.or.jp/">https://www.j-ba.or.jp/</a>  BPO (放送倫理・番組向上機構) :  <a href="https://www.bpo.gr.jp/">https://www.bpo.gr.jp/</a></p> <p><b>【資料】</b>  実名報道 事実を伝えるために</p>